

なに歯だより

平成26年3月28日

第 10 号

発行人 歯科大学
九州歯科同窓会
大阪府同窓会

岡谷 親男

〒555-0012 大阪市西淀川区
御幣島1-3-9 スモカビル2F
TEL&FAX 06-6475-2721
06okatani30@gmail.com

会長挨拶

九州歯科大学 大阪府同窓会

会長 岡谷 親男



例年になく寒さが厳しかった冬も過ぎて、まもなく桜の咲く季節になりました。

平素は同窓会活動にご協力、ご支援賜り、厚く御礼申し上げます。

今年九歯大創立一〇〇周年の記念すべき年で、五月十日には小倉で盛大に記念祝賀会が開催され

ます。我々大阪府同窓会員も記念事業に協力すべく、小倉に馳せ参じて大いに盛り上げたものです。皆様も何かとご多忙とは存じますが、是非とも参加していただき、九歯大のパワーを全国から来られるであろう他大学の来賓の方々に見ていただきたいものです。

また創立一〇〇周年記念基金への協力もあわせて御願ひ申し上げます。まだ予想金額より大きく下回っているようですので、大阪人の心意気を示そうではありませんか。

今年も担当の先生方が、会員の皆様が満足していただける企画を立てていただいております。昨年度にも増して、一人でも多くの皆様が参加していただけますよう、御願ひ申し上げます。

最後になりましたが、「なに歯だより」発行に際し、原稿を頂いた先生方、また企画編集にご尽力賜りました先生方に厚く御礼申し上げます。



花三春

早春に咲く黄色い花。

福寿草といえば「永久の幸福」

「回想」「祝福」などの花言葉で

知られます。

我々の母校 九州歯科大学も、

今年ついに一〇〇周年を迎えます。

冬の寒い時に一番に咲く花。

明るい花色で春を告げる花。

なんだか私達のお祝いに相応し

い花ではないでしょうか。

陽の光と共に大きく開いた花は、

寒さの中も強く生きぬけます。

初めは数輪の花も次々と花開き、

次第に数を増やしていきます。

そしてその花をそつと閉じた時。

茎葉は大きく伸び、その根は深

く張っていきいます。

根は見えない綱となり、新しい

花達を優しく見守り続けます。

福寿草の花を想う時、

その生き方が、なんだか私達の

母校と似ているなと思います。

平成26年 社保講習会 新年互礼会

平成26年1月26日(日) 午後3時

新年恒例の、大阪府歯科医師会 医療保険担当理事の林 正純先生を講師にお迎えしての社会保険講習会が、約四十名の会員の参集の元、なんばのとりよしにて開催されました。



四月の改定を目前に控え、年の初めの段階での情報をきめ細かく解説していただきました。

『ひとつの重点課題と四つの視点』として、医療機関の連携、また、次のような視点を挙げられました。歯科医療の推進、医療技術の適切な評価、患者から見て分かりやすく安全で質の高い医療の実

現、消費税引き上げに伴う対応。また、歯周病治療の流れを解説して下さり、Q&A形式での色々な症例の考え方を教示下さいました。

来年三月までに対応しなければならぬレセプトの電子化対応のお話もありました。

林先生は、今年も新年会にもご参加くださり、個々の質問にも丁寧にお答えして下さい、明日からの診療に大いに役立つ講習会となりました。

続いての新年互礼会は、いつもの青木 修一先生の司会の元、所



狭しと会場満席の元、五時から七時過ぎまで宴が続きました。

岡谷会長のご挨拶に続き、戸倉先生による乾杯のご発声で、宴会の幕が開きました。

近畿大学歯科口腔外科学教授の濱田先生による一〇〇周年を迎える九歯大をテーマとするご挨拶の後、司会の青木先生に促され、若手の安積 中先生(大41期)、越智 信行先生(大56期)の自己紹介、近況報告がありました。

あちこちに話の渦が広がり、あつという間の二時間が過ぎ去り、最後に東先生のエールに続いて、全員で校歌斉唱して、年の初めの同総会行事が終わりました。

(大29期

下出 一夫)



『本部表彰等を受けられた先生のご紹介』

《叙位叙勲褒章受章者》 H24年度 紺綬褒章 阪上 安輝先生 (大21期)

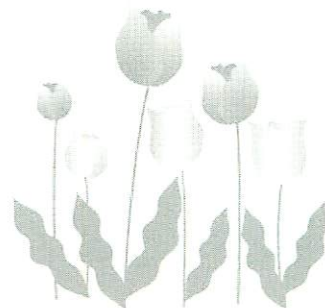
《20年以上会の発展に寄与し、75歳に達した会員》

H24年度 伊良波 剛先生 (大12期)

H24年度 (故) 笹野 一朋先生 (大14期)

九州歯科大学大阪府同窓会 平成25年度・26年度役員

- | | | | |
|-------|-----------------------|-------|-------------|
| 会 長 | 岡谷 親男(大27期) | 学術委員 | 楠元 貴司(大39期) |
| 副 会 長 | 西本 達哉(大28期) : ホームページ | | 高濱 勉(大40期) |
| | 長崎 三男(大29期) : 組織 | | 福重真佐子(大46期) |
| | 谷 泰雄(大31期) : 総務 | 監 事 | 戸倉 良樹(大19期) |
| 専務理事 | 加藤 聡(大33期) | | 倉田 博幸(大27期) |
| 常務理事 | 青木 修一(大29期) : 広報、モニター | 議 長 | 長崎林太郎(大29期) |
| | 黒澤 治彦(大30期) : 組織 | 相 談 役 | 古庄 列(大7期) |
| | 大形 篤広(大33期) : 会計 | | 松本 泰雄(大9期) |
| | 東 昭平(大38期) : 総務 | | 丸山 輝幹(大14期) |
| | 岩田 和久(大38期) : 学術 | | 鳥羽 英紀(大15期) |
| | 岡田 克也(大39期) : 組織、福祉 | | 小野 善弘(大20期) |
| 理 事 | 下出 一夫(大29期) : 広報 | | 阪上 安輝(大21期) |
| | 竹森 康仁(大33期) : 総務 | | 濱田 傑(大26期) |
| | 遠藤 佳代(大33期) : 会計 | | 丹羽 均(大32期) |
| | 山下 美枝(大33期) : 広報 | | |
| | 安東 基良(大36期) : 組織 | | |
| | 砂野 彰宏(大37期) : 総務 | | |
| | 雲川 秀雄(大39期) : 組織 | | |
| | 岡本 達也(大40期) : 学術 | | |
| | 富山 康二(大50期) : 学術、組織 | | |
| | 大野麻衣子(大51期) : 広報 | | |
| | 辻 卓朗(大54期) : 広報 | | |
| | 東江 正裕(大54期) : 学術 | | |



平成25年度 会 員 訃 報

大学14期 笹野一朋先生が、平成25年10月1日に亡くなりました (享年75歳)。
大阪府同窓会会員一同、心より御冥福をお祈り申し上げます。

((※今号より、[・][・][・]会員のみの訃報とさせていただきます。))

平成25年度大阪府同窓会

総会 & 講演会 & 懇親会 & 新入会員歓迎会

平成二十五年五月二十五日(土)午後三時から、ホテル日航大阪に於いて平成二十五年大阪府同窓会総会、講演会、懇親会が開催されました。大阪府同窓会の御用達ホテルを作るために会場をホテル日航大阪に移して二年目の開催です。

開催に先立ち、この一年間に会員でお亡くなりになられた専13期吉田 芳雄先生、県立1期 朝倉由純先生、県5期 堀之内 藤彦先生のご冥福を祈り黙とうが捧げられました。

午後三時に始まった総会では、会務報告をはじめとする五つの報告事項が各担当から報告されました。また平成二十四年度会計決算監査報告など三つの議案が滞りなく承認されました。詳細につきましては、大阪府同窓会ホームページをご参照ください。

三時半からは平成二十五年度大阪府同窓会学術講演会が行われました。今回は自衛隊阪神病院で副

院長、一等陸佐としてご活躍中の大31期 鈴木 通彦先生に、「自衛隊の歯科医官について」の演題でご講演いただきました。お話は、鈴木先生が自衛隊に入隊したいきさつから始まり、自衛隊内での歯科医師としての仕事ぶりや自衛隊ならではの各種設備の紹介もあり、最後には、東アジアにおける安全



保障問題という、非常にグローバルで今もとてもホットな話題まで含まれ、とても興味深いものでした。

鈴木先生の興味深い講演のあと、五時半からは同じホテル日航大阪で懇親会を開催しました。食事は、今までの大阪府同窓会では有りえなかったフレンチのコース料理！ホテルと粘り強く交渉してくれた38期 東先生の手腕のおかげで、とても優雅でゴージャスな懇親会になりました。

例年ならば懇親会でお開きですが、今回は新企画として、二次会を兼ねて午後八時から新入会員歓迎会を行いました。会場は36期安東先生が予約してくれた竹の庭 鰻谷東店。二階のワンフロアー貸し切りです。今年度は、おそらく過去最多と思われる十三名もの新入会員を迎えることができました。懇親会の参加者ほぼ全員に、さらに新入会員歓迎会から参加してくれた先生も加わり、とても賑やかで楽しい会になりました。若い先生方が増えてきて、大阪府同窓会はずますます活気が出てきています。ちなみに次回、平成二十六年度総会、講演会では、テレビや新聞



など多方面でご活躍中の作家、玉岡かおるさんの講演会を予定しています。新刊発行記念のサイン会も予定しています。五月二十四日(土)午後三時からホテル日航大阪です。みなさん是非ともご参加ください。

加藤 聡 (大33期)



近畿北陸地区 連合会総会開かれる

日時：平成25年6月29日（土）
午後3時～
場所：ホテルグランビア大阪

大阪駅徒歩0分の「グランビアホテル」で総会が行われました。グランビアとはスペインの大通りの名からきています。

1 近畿北陸地区連合会総会
各議案が提案どおり可決された



後、壺坂久次先生（兵庫24期）が会長に就任し所信表明されました。

2 学術講演会

講師：大森有樹先生

（47期大阪市中央区開業）

演題：「力のリスク診断で変わる

治療計画」



ドクターはこれだけの技量を持たねばならない事を症例を通して講演していただきました。

症例を見て驚いた、エンド、ペリオ、補綴、完璧だ。矯正だって自分でやる。もちろん予防にも力を入れておられる。万能選手というのに相応しい見事な仕事だ。オリンピックの10種競技金メダリストみたい。

講演を聞いた会員の感想「素晴らしいと思うけど俺には無理」「うちは95%保険診療や」など「大変参考になったけどとても高いレベルや」などため息が漏れていました。

青木 修一（大29期）

大学在籍の 先生による 医局紹介

研修医生活

大阪の先生方、始めまして。現在大阪大学で一年目の研修をしている壺井莉理子と申します。

大阪大学では、口腔総合診療部という、一般歯科治療全般を行う部に所属しています。ここでの研修は医局会や特別な講義がない限り、補綴科や口腔外科の忙しい同期を尻目に、8：30に出勤して

17：30には帰宅するという素敵な生活を送っています。

配当患者も少ない5、6月は暇を持って余して毎日のように飲み会をし、ゴルフを始め、ジムに通うという、まるで学生の様な生活を送っていました。研修医も60人近くいるので、大阪大学出身の友達も増え、新しい環境を存分に楽しむことができました。

週一回の医局会では症例検討会や英語論文を読んだの抄読会が行われ、わずかに感じられる『大学』を堪能しております。

秋以降ようやく患者も増え、アシストのみではなく自分の診療が行えるようになってきました。一人の患者に一時間という予約時間をフルに使う（オーバーすることも珍しくはありません）じっくりと治療を行っています。ずっと口を開けている患者さんには申し訳ないですが、自分の納得いくまで処置が行える今の環境はとてもありがたいです。

また、大阪同窓会の先生方には大変お世話になり、医院見学など気軽にさせて頂いて感謝しております。開業医のスピード感や、妥協せずにいかに早く処置を行うか





など、大学ではできない勉強が出来てとても楽しいです。

来年度は大学院に進学し、歯科理工学講座で研究を行う予定です。

同窓会の先生方には、これからもお世話になると思います。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ致します。

壺井莉理子 (大61期)

研修医生活を振り返って

私は61期の森下真衣です。去年九州歯科大学を卒業し、四月から大阪歯科大学附属病院口腔総合診療部で研修しています。阪大での研修に至った経緯、研修生活について書かせていただきたいと思います。

私は奈良県出身で、学生の頃よりサマー懇親会・すかたん会に参加させていただいていました。剣道部の先輩である岡田先生をはじめとする多くの関西で活躍されている先生方とお話しさせていただ

くことで、卒業後関西に戻ってくるというビジョンが少しずつ明確になっていきました。

口腔総合診療部では、予防・歯周・保存・補綴に至るまで一つの診療科で行われます。担当医制であり、患者さん毎に指導医が異なるので、指導医それぞれの考え方・手法を学ぶことができ、大変勉強になります。また口腔総合診療部では、各科の研修医も治療を行うため、他科での研修状況を知ることができています。

卒業後関西に戻ってきた後も、北摂会などに参加させていただき、九州歯科大学のつながりを強く感じとても心強く思っております。この場をお借りして、温かく迎えてくださった先生方に深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願ひします。

森下 真衣 (大61期)



会員だより

『近北だより』編集を振り返って

古庄 列 (大7期)

昨年の十月に仕事を辞めてから患者に煩わされずに、毎日余生を過ごしています。昨今、学生時代に部活で卓球をしていたことから、週に三日の卓球クラブの仲間入りして、卓球を趣味にして興じています。今、毎日気楽に過している

時に、広報部から、近畿北陸地区連合会の会報「近北だより」について、何か書いてほしいとの原稿依頼がありました。一時期編集に携わっていた関係だと思えます。「近北だより」は、昭和三十五年

に平山稔連合会長の進言によって発刊されました。その時、堀之内藤彦先生が初代編集長に、部員には、小川善之先生(兵庫)と古庄が補佐しまして創刊されました。発行第一号が発刊された時の感激は又格別でした。

毎年、開催されていますが、その間の学術総会だけではと、その間

に、会員との関係を深めるためにという主旨のもとに、会報を発刊することになりました。

「近北だより」は、年に二回の一月と七月に発行することになり、会報の発行が近づきますと、会長宅に、毎回診療の終わった後に集まり、原稿の依頼の準備、発送、校正と、夜遅くまで掛って終電車に間に合うのがやっとなりました。編集の苦勞も、時折り雑談で手を休め、息抜きをしながら楽しく編集したものです。

毎回の原稿依頼では、会員の先生方から心よくご投稿下さり、原稿がそろったときはホッとしたものです。今、原稿を書きながらその頃のことを、懐かしく思い出しています。

堀之内藤彦先生は、「近北だより」を一号から発行される度に保存されていきました。同窓会支部の歴史を知りたいと思いましたが、先生が保存されていきました。「近北だより」が役に立ちました。その役割を果たす事が出来たことは、それなりの意義があったことと思います。

広報担当理事を務めたとき、部員に小川善之先生、岡谷親男先生

方に助けて戴きました。当時曲がりなりにも発行できましたことは、発行のたびに原稿をご投稿下さった各県支部の先生方によるもの、心にとどめています。

広報担当理事を長崎三男先生に引き続いていただいた時、正直肩の荷がおりたようにホッとしたものです。

今尚、担当理事によって益々、充実した「近北だより」が続刊されていますこと、心強く思っています。

「なに歯だより」の編集長と各部員の責任感と努力はなみなみならぬものと、お察しいたします。「なに歯だより」が、各担当理事のご健闘と更なる発展と益々のご隆昌を祈念しつつ柵筆いたします。



『アルコール伝説』

西本 達哉 (大28期)

私が大阪府同窓会に入会させていただいてから、はや30年ほどが過ぎました。入会当時は確か中村義金先生が会長をされてたと記憶してますが、その後崎田道臣先生、鳥羽英紀先生、山本克彦先生、そして岡谷親男先生と会長も交代されました。同窓会では会計・総務の仕事長くさせていただきましたが、優秀な後輩の先生に引き継いで、現在はホームページの運営のみ担当しています。いつの間にか後輩の先生の方が多くなり、総会や新年互礼会に出てこられる先輩の先生が少なくなつて寂しい思いがしていますが、それが時の流れというものかも知れません。しかしここ数年で新入会員は増大、楽しい事業も増えて、会務の運営も極めて活発にされており嬉しい限りです。

さて私はアルコールパッチテストでは何度検査をしても「アルコールを飲めない体質」と結果が出ているのに、ついつい楽しく飲んでしまいくつかの伝説を作ってしまった。

その1. 天王寺区歯科医師会のバーベキュー大会にて、韓国のお酒「JINRO」を初めて飲み余りに口当たりが良く、メインの焼き肉を食べる前に潰れてしまい、隣の空き地で寝てしまった。

その2. これも韓国のお酒「マッコリ」を飲み過ぎて、自転車から転倒、気が付けば救急病院で家内と娘が心配そうに私を見ていた。左目の下にあざができて、しばらくは公式の場に出ることができなかつた。

その3. 大阪府同窓会豊中支部で、たぶん「ワイン」のせいと思われるが、二次会でカラオケに行つて途中気分が悪くなり、2時間ほど行方不明になっていたらしい。星空の下で寝ていて目が覚めて、運良くカラオケの部屋に戻れた。ところが履いていた靴の片方がなく、結局見つかからず片足は靴無しで帰宅した。



(2014. 2. 9. 小川先生講習会のあと庄助にてトマト酎ハイを飲む)

その他いろいろ失敗談はありますが、韓国系のお酒とワインは遠慮し、なるべくビールだけにしています。ただ上本町庄助の「トマト酎ハイ」は何度か同窓の先生と二次会で飲みに行きましたが、口当たりよく悪酔いもしないのでお勧めです。これからはお酒は控えめに、周りの人に心配や迷惑をお掛けしないようにしたいです。(いい歳をして恥ずかしい次第ですが...)



『酒は、ほどほどに』

榊原 肇 (大29期)

勘三郎、たかじん、淡路恵子の共通点は？

酒やタバコをこよなく愛し、食道がんで亡くなった人達です。

喫煙によるがん発生のリスクはよく知られているが、飲酒によるがんのリスクを知る人が少ないことに私は危機感を持っています。

一般に、九州歯科大学出身の先生は、酒が強く、酒飲みであると言われています。

私の学生時代は、酒づけの日々でありました。酒に弱い私は、コップ一杯のビールで、顔が真っ赤になっていましたが、日々の鍛錬の成果で、そのうちに顔は赤くなるが、そこそこ飲めるようになっていきました。それ以降、「飲む時は、力一杯飲むぞ」と心に決め四十年、ひたすら飲み続けていました。

今から十年前に父が食道がんで他界してからも「酒は、百薬の長」と言っては、毎日毎日飲み続けていました。

そんな時、次のような記事に強い衝撃を受けました。

酒を飲んで

顔が赤くなる

(顔面フラッシュ)

シング)など

酒が弱い体質

なのに習慣的

に酒を飲み続

けた人は、酒に強い人の数十倍も

食道がんになりやすい。

人類は本来、酒には強いらしい

のですが、東アジア人(日本、中国、韓国)は、遺伝子の変異によ

り、酒が弱い人が多いらしいので

す。約四割の人が酒で顔が赤くな

り、これは白人や黒人には見られ

なくて東洋人だけに見られるので

「アジアン・フラッシュ」と呼ば

れます。

食道がんを招く原因としてあげ

られるのが、アセトアルデヒドで

す。これは発がん物質です。アセ

トアルデヒドは、血管を通して全

身に運ばれますが、酵素の働きに

よって細胞は守られます。しかし、

食道はこの酵素の働きが弱いため、

アセトアルデヒドの攻撃を受けや

すいのです。アセトアルデヒドは

顔の毛細血管を拡張する働きがある

ため、顔が赤くなる人は、遺伝的

にアセトアルデヒドの分解が苦手



な人なのです。

この記事を読んで、毎日の飲酒

をやめました。家では、ほとんど

禁酒しています。ただし、月一回

程度、宴会などでは二合まで酒を

飲んでよいと決めました。最近

では不思議なことに、二合以上飲

むと決まっても気分が悪くなります。

私の場合、酒と女は二合までにし

た方がよさそうです。

特に気をつけてもらいたい事を

書きます。

食道は、ゴムホースの様に薄い、

かよい器官です。どうかあなた

の食道を大切にしてあげて下さい。

酒、タバコ以外にも熱い食物、辛

い食物にも注意して下さい。野菜

や果物が食道がんのリスクを下げ

ると言われていますから、しっか

りと食べて下さい。

完全な禁酒をしなくても、赤く

なる人が飲酒量を減らして一合ぐ

らいに控えるだけで、日本人の食

道がんが半減するというデータが

あります。やはり、昔から言われ

るように『お酒はほどほどに』、お

酒はたしなむ程度に』というのが

正解のようですね。そして、飲ん

で真っ赤になる人に酒を勧めるこ

とも慎んだ方がよいでしょう。

『居合道』

長崎 三男 (大29期)

「武士道といふは死ぬことと見つけたら」佐賀藩士、山本常朝の

「葉隠」にあるあまりに有名な一

節である。55歳で居合道を始めた

時、どうして居合なのかと質問を

受けることが多かった。武士道に

あこがれたわけでもなく、中学時

に剣道部に在籍していたこと、そ

して洩垂れ小僧のころ熱中したチ

ャンバラが原点であったと思う。

自宅近くの住吉大社武道館が教室

であったことも幸いした。飽き性

の怠け癖を防いでくれる。

居合道は居合腰という言葉があ

るように、腰が要である。習い始

めのころ、正座から跪座を経て刀

を持つて立ち上がるだけで体がふ

らついた。いかに自分が腰の据わ

っていない男であるのか痛感した

次第である。

教室に通って4年が経ち、武段

を拝受してようやく腰が据わって

きたように思う。「葉隠」の後段

には「常住死身になりて居る時は、

武道に自由を得、一生落度なく、

家職を仕果す」とある。未練を断

って覚悟を決めた時、自由の境地



に達し、何も恐れず職務を全うできるといふことである。無心で刀を振るゝ、呼吸が整つてくると姿勢も安定する。仕事もかくありたし。いよいよわが人生も晩節に至り、腰を据えて正道を全うしたいと思う今日この頃である。



『これは趣味?』

下村 均 (大32期)

私が45年前に入っていた少年サッカークラブのお手伝いを始めて13年経ちました。1年52週のほとんどの土曜日午後4時間と木曜日の夜間1時間余りをコートとして暑さ寒さのなかグラウンドに出ています。我々の時代に比べ今の子どもはサッカーテクニクレベルは

格段の進歩があり、勝負できるのは4年生が限度で6年生では軽くひねられてしまいます。

6年生ぐらいになると、試合に生きるよう練習内容にいろんなプレーを落とし込んでいくのですが中々これが難しい。プレーばかりでも説明ばかりでも理解が

得られません。が、このあたりを指導しているのがおもしろいですね。サッカー経験の少ない私でも学生時代のラグビー経験が生ききてきて、同じフットボールだと感じます。今は2年生25人を一人で見えています。が、やはり将来のためにと面白くない基本の練習の回復を大切にしています。最初からセンスのある子もいれば苦勞



しそうな子もいます。少し慣れた頃になると、一生懸命練習しているとえば突然後方の目の届かないところで泣き声が、あつちでは砂のかけ合いといった具合です。ほぼ一年たつとなんとかドリブルもうまくなり恰好はつくようになって進級して行きます。こんな風に一年が過ぎ、また新しいやんちやな子どもたちがやってきます。

楽しみは、卒業していった子どもたちの将来です。Jリーガーや関西有名大学でレギュラーをはるものもいますし他のスポーツで頑張る子もいます。U-17の日本代表もいました。いつかSAMURAI BLUEのメンバーが誕生することを目にしてみたい。いつか続けるつもりです。

同じような趣味(?)のある先生いらつしやいますか、語り合えたら楽しいですね。



『祖母が』

遺してくれたもの』

吉田 佳緒里 (大56期)

私事ですが、先日祖母が亡くなりました。幼い頃にはよく遊んで

もらい、色々な事を教えてくれる大好きな人でした。私にとつて、物心ついた時から尊敬し続けた偉大な人でした。悲しみは言葉で言い表せない程の深さで簡単に癒えそうにありませんが、自分の中で少しずつ消化していかなければならないと思つています。そしてその過程としてこの場を使わせていただけただけことに感謝いたします。

祖母は、若いころから茶道・華道・書道を何十年も続けていました。しかしそれらをやめて、六十を越えてから英語に目覚めました。祖母の時代にはもちろん英語の教育などなく、アルファベットを勉強するところから始めていました。誰もが驚くほどの努力家で、生活の中心を英語においていました。

英会話学校に通いながら、自宅でも英語のニュースをみたりラジオを聞いたり本場に一日中英語と関わっていました。一緒に海外旅行に行つた時には、外国人を見つけるとは自分から話しかけ英語力を試すように会話し、とても楽しそうにしていました。新しい単語や言い回しを学ぶと嬉しそうに教えてくれました。私の記憶の中では祖母は常に家族でいちばん英語を話

せる人でしたが、それはとてつもない努力の結果でした。

今年のお正月に会いに行った時、祖母の姿は明らかに去年までとは違い弱ってしまっていることを認めざるを得ない状況でした。反応も薄く、気力と体力が途絶えかけていると強く感じました。しかし「まだ英語聞いているの?」という問いに対してだけは表情を急に變えて「うん、聞いているよ」としつかり答えてくれました。結局それから二十日後くらいに亡くなってしまったのですが、本当に最後まで学ぶ気持ちは持っていたようです。棺と一緒におさめられた英語の辞書は使い古されてポロポロになっていましたが、NHKのラジオ英語のテキストは最新号のものでした。自分の寿命を悟るようにならざるを得ない状況で、自分に自分で遺影の写真を用意しながら、それでも勉強し続けていたその気持ちはどこからくるものだったのでしょうか。今となっては直接聞くことはできませんが、それはもう今までの祖母を見ていれば十分すぎるほど教わっていたことのように思います。

書道をはじめたのは「掛軸の字を読むようになりたい」、英語

をはじめたのは「海外に行った時に現地の人と直接話したい」、そんな些細なきっかけからのスタートでした。誰もが日常生活を送っていれば持つことがある、そんな小さな動機を実際に行動にうつし、それに対する努力を怠らず継続するという姿勢は、祖母が私に遺した一番大切なメッセージであったといま改めて感じております。私にも祖母の血が受け継がれているということに誇りと責任を持ち、これから人生で出会う様々なことに向き合っていけたらと思います。おばあちゃん、本当に三十二年間ありがとう。



新入会員のご紹介

平成二十五年度は、十三人の先生の御入会がありました。そのうち、四名の方より自己紹介のご投稿いただきました。会員の皆様方どうぞ宜しくお願い申し上げます。

二〇〇八年四月
九州大学大学院 入学
二〇一二年三月
九州大学大学院博士課程(甲) 卒業

卒業

結婚を機に大阪に引っ越し、非常勤で歯科医院にて勤務中です。

③家庭と両立させながら、常に歯科医師として向上していきたいらと思えます。

④お酒と旅行

大学に入学して、お酒が大好きになってしまい、現在、キッチン・ドラムカーまつしぐらです。色んな国を旅行して、その土地のお酒を飲み歩くのが大好きです。

⑤今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしく願います。

①西南女学院高校

サッカー部マネージャー

②二〇〇六年四月

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院(久留米)にて研修医

二〇〇七年四月

九州大学 歯科麻酔科 入局

新入会員の自己紹介

氏名	ふりがな	
出身高校	大学時の所属クラブ	①
卒業後の経歴	現況報告	②
将来の夢		③
趣味		④
今後の等	窓望	⑤

おかだ やえ
岡田 八栄(旧姓 仲西)
(大54期)

いで さゆり
井出 小百合 (大60期)

①愛媛県立今治西高校
バスケットボール部

②九州歯科大学附属病院小児歯科
で研修後、現在大阪市城東区の
玉井歯科医院にて勤務しており
ます。

③十分な経験を積み、開業したい
と思っております。

④スノーボード

⑤出身は関西ではありませんが、
二〇一三年四月から大阪で勤務
しております。よろしくお願
い致します。

おとの ゆうへい

乙野 雄平 (大60期)

①兵庫県立兵庫高等学校
所属クラブなし

②一年間浪人後、国家試験合格。

現在、大阪歯科大学附属病院保
存修復科にて研修中。

③患者さんに喜ばれる治療を追求
し続けたいです。

④体を動かす事。料理。

⑤たくさんの先生方と知り合いに
なり、大阪でのつながりを広げ
ていきたいです。これから宜し
くお願い致します。

ワンコイン講習会

平成二十五年十二月十五日、R

F大阪支店において、柿木保明先
生(九州歯科大学 生体機能学講
座 老年障害者歯科学分野教授、
九州歯科大学副学長)をお招きし、

「臨床から取り組む口腔ケアと接
触嚥下リハビリテーション」とい
う演題でワンコイン講習会が開催
されました。

口腔ケアとは「口腔の環境と機
能を正常にすること」と定義され、

まさき なるひさ

正木 成久 (大60期)

①清風高校
自動車部

②大阪歯科大学にて研修
といぐち歯科勤務

(院長36期 渡井口先生)

③開業

④ドライブ

⑤就職、転職の橋渡し



そのために必要な口腔ケアの手法、
口腔内を診察する際の注意点、ま
た、口腔ケア時に使用する保湿剤
の選択方法や、口腔ケアや口腔リ
ハビリに効果的な漢方製剤につい
て、先生の症例を提示され詳細に
かつ大変わかりやすく解説されま
した。今後増々高齢者の患者さん
を診察していく機会が増える私共
にとり大変有意義な講演会となり
ました。

講演会終了後は懇親会が行われ
ました。台湾から帰国されたばか
りで大変お忙しい中、柿木先生も
参加され、先生方からの色々な質
問に対し懇切丁寧にお答え頂きま
した。

今後もワンコイン講習会は企画
していきますので、多くの先生方
のご参加お待ちしております。

東江 正裕 (大54期)





岡谷 親男 (大27期)

〈推薦図書〉

「永山則夫

封印された鑑定記録」

堀川 恵子 著

死刑囚、永山則夫を精神鑑定した精神科医との一〇〇時間に及ぶ会話を基にした著作です。NHKスペシャルでも取り上げられました。

〈推薦映画〉

『永遠の0』



玉岡かおるさん 著作のあれこれ

5月24日(土)、講演会に向けて

先日来、HPに掲載頂いている「玉岡かおるさん講演会お誘い文」で御一読お願いしました「お家さん」は既に読んで頂けた頃かと思えます(笑)

そして、もう少し玉岡ワールドに浸りたくなられたであろう皆様に、今少し著作紹介させて頂きます。

まずは、『お家さん』と共に、明治3部作と言われている『天涯の船』、『銀の道一条』。そして、それに続く『負けんときーヴオーリーズ満喜子の種まく日々』です。共通点は、明治から昭和初期、時代の流れに翻弄されながらも、時に耐え、時に挑みながら、歩き続けた女性達の物語である事。彼女達の後ろ姿を追いつつ、自分ももうひと頑張りしてみようかーという気になります。男性の先生方

も、「賢者は歴史に学ぶ」と申しますが、しっかりと書き込まれている時代背景から見えてくる事があるかと思えます。

また昨年末に、実在の画家をモデルとした『ひこばえに咲く』、玉岡さんの地元三木に伝わる悲惨な籠城戦を題材とした『虹、つどうべし』が、相次いで刊行され、新境地を開かれています。

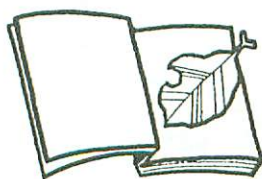
全く違った小説ながら、共に恋愛小説の一面を持ち、前者は「人は、いつでも生き直せる」、後者は「命をつなぐ」がキーワードでしょう。

どちらも、人間味溢れる登場人物がとてども丁寧に描かれており、ぜひ読んでいただきたい力作で、胸に沁みる作品です。今年話題の「黒田官兵衛」も魅力的な重要人物として登場します。

上記著作の数々、もちろんとても素晴らしいですが、玉岡かおるさんご本人が本当に素敵です。当日はサイン会も予定されております。ぜひ、講演会へのご参加お待ちしております！

遠藤 佳代 (大33期)

追記 上記の本、並びに1月末発行の初エッセー『ホップステップ ホーム!』等々の玉岡かおるさんの著作を、当日講演会場に耕文堂書店さんが準備くださいます。事前に読みきれなかった作品は、当日ぜひお買求め頂き、サイン会にご参加ください。講演会、3倍楽しんで頂けると思っています！



福祉活動報告

大阪城梅園観賞&

屋形船ツアー

(平成25年2月24日)

晴天とはいえ寒風吹き荒れ、本音を言えばお家の炬燵でみかんを食べていたい日になぜ家族会を決行しなければいけなかったのか？

- 1、大阪城の梅林の見ごろである。
- 2、屋形船が冬季料金で格安である。

幹事の私は我ながら「すばらしい企画だ！」と自画自賛していました。

朝十時に大阪城公園で集合した参加者はあまりの寒風の激しさに「驚きの声」があちこちから上がりました。



なかでも「榊原先生の八〇歳を越えたお母様にこの一日の行程は大丈夫なのか？」と少し心配になりました。大阪城公園駅から梅園を観賞して天守閣をめぐる天満橋に至り屋形船でお鍋を戴く、約五

キロの道のりは楽ではありません。「うちのおばあちゃんは毎日歩いてるから大丈夫やで！」事前に榊原先生に太鼓判を貰っていましたが、ほんとに大丈夫でした！屋形船ではお酒も嗜まれとてもお元氣でした。

当日は大阪城ボランティアガイドの方を二人お願いしました。大阪城にまつわる歴史を丁寧に説明していただき興味深く感じたことに「今のお城は昭和三年に市民か

らの一五〇万円の募金のうち五〇万円建てられ、残りの一〇〇万円に隣に陸軍第四師団司令部庁舎を建てた。」つまり市民の浄財で軍事施設を作ったとのこと。

残念だったのは、寒さが厳しかったので梅の開花が遅れ三部咲きであり期待に答えられなかったことです。

天満橋の熊野街道の起点である八軒屋浜から屋形船に乗って宴会をしました。みんなおしゃべりでも盛り上がり、アット言う間にも二時間が過ぎ外の景色を観る暇がありませんでした。

(文責 大39期 岡田克也)

サマー懇親会

OB、OGにおかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。九州歯科大学歯学部五年、サッカー部の村上勝俊です。よろしくお願います。

小倉では関西出身の一年生が毎年二〇人以上入学してくる中、毎回七〇人前後の関西出身の学生あ



います。違う部活の学生同士が交流を持てる場であり、サッカー部、バスケット部といった部活を中心に新一年生の歓迎や、六年生の国家試験の応援、卒業のお祝いをさせていただきます。また、九州歯科大学で働いていらっしゃる先生方のお話を聞き、どのように学生生活を過ごせば良いか、卒業後の九州歯科大学での研修や大学院についてなど様々な貴重なアドバイスをいただいております。自分自身のことでは初めて七〇人を超える会の幹事をさせていただきました。微力ながら尽力させていただきました。本当に貴重な体験をすることができました。現在も後輩が先輩方の意思を引き継ぎ、関西人会を開催して

くれていますので、毎回参加させていたでいます。

一方で毎年夏に開催されていますサマー懇親会には三年、四年の時に参加させていただきました。

参加するキツカケといたしましては、サッカー部OBの先生のお誘いがあり興味を持ち、更には学生無料というところでした。サマー懇親会ではクイズ大会等、学生が楽しめる企画を多々用意していただき、また関西の先生ならではのお笑いの学生時代の話や、歯科医師になってからの遊びといった部分では、学生の立場からして笑っていいものかと思うぐらいきわどい話を聞くことができました。また、関西の歯科医師の現状から



マー懇親会にも参加させていたできたいと考えていますので先生方の面白い話を聞かせていただければと思います。ありがとうございます。

大阪、兵庫同窓会

合同ゴルフコンペ

(平成25年12月1日)

昨年からは始まった合同ゴルフコンペは、今回大阪府担当で北神戸ゴルフ場にて開催されました。当日は朝方こそ寒風が肌を刺しましたが、晴天のおかげで絶好のゴルフ日和となりました。昨年のハンディを参考にして総勢十四名が優勝トロフィーを争いました。

考えうる、現在の学生の将来性や学生のうちに知っておかなければならない事といった、小倉では聞くことのできなかつた関西での実情を聞かせていただきました。さらに、卒業後の研修の医院や実際の就職先としての医院を紹介していただいたりもしました。卒業後はできれば大阪で働きたいと考えている自分にとつて本当にありがたい話もいただきました。そして、大阪でご活躍されているサッカー部OBの方とお酒を交わせる場でもありました。参加回数が二回とまだまだ少ないですが、参加して良かったと思えるぐらい充実した時間を過ごせました。

私が今回担当幹事で準備をさせていただきました。最近はとても楽になっていて、コンペの景品は予算と希望を伝えておくとゴルフ場の担当者が品揃えをしコンペチームに並べてくれて楽チンでした。私は鳥羽前近畿北陸同窓会会長、壺坂近畿北陸同窓会会長と会長の奥様と四人でのプレーでした。壺坂会長夫妻はとても仲睦まじく、とてももうらやましく感じました。

腕前は奥様がハンディ10で一番お上手でした。

優勝は岡谷大阪府同窓会会長で優勝トロフィーと神戸牛すき焼き肉を獲得されました。



馬券は連勝複式で二口以上の購入が必要なのですが、鳥羽前近北会長は十口も買われ「なんともつたいない」思いましたが、なんとこの中の中馬券が出ました。砂野先生がもうひとつの当たり馬券をゲットして山分けされました。

昨年の近畿北陸役員会でコンペの報告をしたところ、他府県の先生から参加を希望がありました。ゴルフを通じての親睦は宴会でのものとは一味違うと私は思っています。一日ラウンドするだけで初対面でもとても親しくなれます。腕前は関係なく皆様のご参加をお待ちしています。

(文責 岡田克也 大39期)

第5回 おすすめの名店シリーズ外伝 一度試してみたかったお取り寄せグルメ編

さて、今回もおす
すめの名店シリーズ
外伝ということで、
一度は試してみたか
ったお取り寄せグル
メ編をお届けしよう。
今回のターゲットは
知る人ぞ知る禁断の
『るみ子の酒』だ。
早速Amazonで注
文してみた。

トリビアの泉や探
偵ナイトスクープな
どで取り上げられ有
名になった酒、『るみ子の酒』。

この酒がどうしてここまで有名
になったかというところ、開栓ととも
に、とてつもない爆発が起きる：
らしい。

映像を見る限りピンを開けると
同時に三分の二ほどの酒が天井に
届くほどの勢いで吹き出るようだ。
悪魔の酒と呼ぶ者もいるようだ。
にわかには信じがたい…。

そこで実際にやってみよう。
注文から一週間後、いよいよそ
の酒が手元に届いた。
そしてそのラベルには開栓にあ

たつての注意書きが赤字でなされ
ていた。

『必ずお読みください。予期せぬ
事故を招くことがあります』

まさか事故が起ころほどの爆発
：一抹の不安を抱えながら、その
注意書きを読みすすめる。

『開栓の際には汚れても大丈夫な
服装をお願いします。周りが汚
れても大丈夫な場所、外、お風
呂でお開けください』

…いったいこの小さなガラス瓶
の中で、我々の想像を超えるよう
な化学変化が起きているというの
か？ そしてこれから僕の身にい
つたいどんな惨事が起きようとい
うのか？

高鳴る鼓動を感じながら、二人
の子どもがようやく寝静まった真
冬の小雨降る深夜、いざ決行の時
を迎える…。

僕の右手がその悪魔の栓にかか
る。ゆっくりと、しかし力強く…。
どんな爆発が起きたとしても俺
は大丈夫だ。万が一に備えての準
備は万全だ。

周りの家電や壊れやすいものは
すべて撤去した。そして天井に届
くほどの噴火が起きたとしても命
をかけて顔面で噴き出す酒をすべ
て食い止める覚悟だ、いやこれは
五メートル離れたリビングの片隅
で俺をならむ嫁の冷たい視線が俺
をそうさせるのか…。

ついにその時が…栓が勢いよく
はずされた。
さあ来い！

！？。
こっこれは…！！

爆発どころか瓶から酒がこぼれ
ることもなかった。

中身は呑みやすいただの濁り酒。
完全に拍子抜けの不発弾…

どうしてこのるみ子の酒が爆発
するのかというと、この酒は活性
濁り生原酒のために瓶詰後も瓶内
発行が行われ、炭酸ガスが発生し
続けるからだとか。

アルコールを常に生成し続け、
味もダイナミックに変化するとい
うことだ。

故に、開けた瞬間に、中のお酒
が勢い良く噴出するそうなの。
シャンパンやスパークリングワ
インをよく振ってから開ける感じ
か。

勇気ある方はこのるみ子の酒を
よく振ってから開けると、爆発し
何メートルも吹き上がるのを見る
事が出来るそうなの。

ただしそうすると中身は空っぽ
になってしまうようだが…。
大抵はたらいか何かを用意して
吹きこぼれたものもおいしく頂く
そうなの。

このコーナーでは先生方の行き
つけの名店を紹介させていただき
ます。心当たりのある方は是非編
集委員までご一報ください。決し
て大きな声では言えないようなお
店でも結構です。ただし掲載は袋
とじとさせていただきます。

(第5回担当

辻 卓朗(大54期)





エッセイ 第五回

『その薬、飲み続けますか?』

山下 美 枝 (大33期)

私事で恐縮ですが、五年前母が胆石の手術を受けました。それまで殆ど病院にかかった事のない母でしたが血液検査で高コレステロール(以下コレステロールはコレと記させて頂きます)血症が見つかり、退院後ずっとコレ低下薬のスタチン剤を飲み続けていました。その事に違和感を覚えていた上、元気のない母の姿を見て私は薬を止めてはどうかと提案したところ、母はお医者さんの指示だからと答えました。母の事も全て医師任せではなく自分で納得したいと考えた私は以下の本を読みました。岡本裕著「9割の病気は自分で治せる」「薬をやめれば病気は治る」「一生薬のいらぬ体のつくり方」、近藤誠著「医者に殺されない47の心得」、中村仁一著「大往生したければ医療とかかわるな」。薬を止めさせたい私が選んだ本ですがある意味偏った本ばかりと言う事になります、読後私の違和感

は確信に変わり母には薬を止めてもらいました。一部を紹介します。数値だけ見て病気と信じてはいけない。
・ 血圧もコレも(基準値よりも)高い方が長生きする。
・ コルは実は長寿のもとである。
・ コル値が低い人ほど全てにおける死亡率やガン死亡率が圧倒的に高くなる上、自立度が低下する。
・ 薬は毒である。
・ スタチン剤を服薬する事は小利大損の典型とも言える。
・ 中止して具合が悪くなる薬など殆どない(ドクターズブルー425 医師の心得集)
・ 他にこういう内容もありました。
・ 日本人は世界一医者好きの国民である。
・ WHOが定めた必須医薬品は三百種余りだが、日本にある薬は一万七千種を越え世界トップクラスである。

・ 日本は世界全体の1/6の薬を消費している巨大医薬品消費国である。
・ CTもMRIも世界の約1/3が日本にあり、検査件数も世界断トツ一位。
・ 放射線検査による国民被曝線量も、それによる発ガン死亡率も世界ワースト
・ 予防医学の実態は患者を呼ぼう医学
・ 病院に行く人ほど薬や治療で命を縮めやすい
・ 更に一つ付け加えます。骨粗鬆症の第一選択薬であるビスフォスフォネート製剤。服薬患者さんの抜歯後に顎骨壊死が起こる事があるとして歯科医にも聞き慣れた薬です。単に骨粗鬆症の薬と聞けば特に何も感じませんが、その作用機序は骨を破壊する破骨細胞を壊死させる事により骨吸収を阻止する薬だそうです。何だか急に恐くなってしまう。
尚、著者の岡本氏も近藤氏も中村氏も医師です。薬を飲むにしても飲まないにしても、自分で調べて考える事も必要なのではないかと私は思います。

編集後記

これ書いてる少し前に行った志賀高原ゲレンデでスキー板を作る会社の人に聞いた話。浅田真央とかが出るフィギュアスケートとか上村愛子の出るモーグルとかの審判にロビー活動するのは世界の常識らしいです。採点に手心を加えるために金品を贈ったり接待したりするわけ「それを一切しない日本人はいさぎよいアホです」と愛情を込めておっしゃいました。どこか九州歯科大学大阪支部のカラーに似通ってませんか?「なに歯だより」編集委員会のメンバーは今年も良い原稿を集めるロビー活動を続けていきます。
青木 修一(大29期)

前号より又一年、皆様にはどのような日々でありましたでしょうか?そして次号までの又一年、充実した時間を多く積み重ねていきたいですね。
山下 美枝(大33期)

今回も皆様のご協力のお陰で第十号の発行が無事できました。この場をお借りしましてお礼申し上げます。私自身この「なに歯だより」の広報編集委員を務めさせて頂いては五周年になります。日々の診療に追われながらも大阪府らしい広報誌を目指しております。会員の皆様の編集部へのご参加やご投稿お待ちしております。
辻 卓朗(大54期)

九州歯科大学は、今年百周年。実は「なに歯だより」も第十号を迎えます。映える年に広報編集委員として同窓会に携われることを、光栄に思います。素敵な一年になりますように。
大野(旧姓:渡瀬)麻衣子(大51期)

小学校の卒業文集で、作家になりたいと書いたことは記憶していますが、読んだ本に感動したことがその理由だったはず。短文でもこんなに苦労するのに、とてもおこがましい希望だったと、今は思うのみです。皆さんのご投稿が「なに歯だより」です。今回も本当にお世話になりました。
下出 一夫(大29期)